

紙技 Light シリーズ　#N5**

共通取扱説明書

⚠ 楽しい模型作りのために (安全に関する注意) ⚠

- **本キットは製品の性格上組み立て作業に鋭利な刃物や化学薬品、小さな部品を使用します。不慮の事故を防ぐためにも取扱説明書を最後まで必ず読み、手順を十分に理解してから製作に取りかかってください。**
- **特にけがなどを防ぐために、お子様がキット制作を行なう場合は必ず大人の方と一緒に行い、誤飲・けが等のおそれのある小さいお子様の手の届かないところで作業・保管を行ってください。**

- も く じ -

1.はじめに

このたびは、にどる屋本舗製ペーパーキット (以下本キット) をお求め頂きありがとうございます。このキットと簡単な材料だけで市販の製品に引けをとらない、驚くほど立派な車両を手にできてしまう感動を味わって頂ければ幸いです。

●本キットに付属するもの

このキットに付属しているものは以下の通り。

・説明書 CD	1枚	共通組み立て説明書と個別説明書が入っています
・本体型紙	1セット	
・シール紙型紙	1枚	

2.キット組み立てに必要なもの

このキットを組み立てるのに必要だと思われる主な工具、材料を列挙してみました。主だった用途も書いてありますのでぜひ参考にしてください。下記の表以外にも定規(金属定規が便利)とカッターマットも揃えておいてください。　*鉄道部品(床下機器・台車等)については補助説明書「装飾部品取付」の章をご覧ください。

●工具類

切断工具	
デザインナイフ	パーツの切り出しに使用 (カッターでも代用可)
ピンバイス	手すりや台車取り付け穴加工用など
耐水ペーパー	紙の継ぎ目消しや表面処理に使用 (＃400と＃800があると便利)

糊類	
瞬間接着剤	主要な部品の接着に使用
木工用ボンド	強度のあまりいらないパーツの取付など
両面テープ	接着剤がはみ出ては困るパーツの取付など
ゴムボンド	ベンチレータやガラス等塗装後のパーツ取付に使用

●材料類

本体基礎部材	
透明プラ板	ガラスを表現する為の透明プラバンor塩ビ板
プラ板	床板製作に使用(t0.5とt1.2が有ると良い)
桧 角材	車体の補強材 □2×2
おもり	釣具屋などで売っている板鉛など
真鍮線	車端部のホロ吊り具(φ0.35)や手すり(φ0.2)などに使用

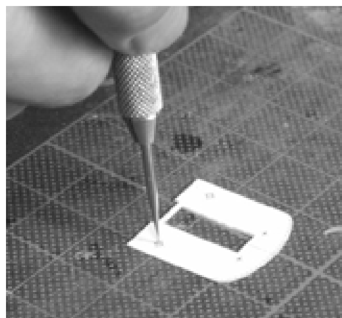
3.組み立て手順

● 切り出し・組み立てのまえに

図面の線に沿って丁寧に切り出してください。特に指定している場合を除いて部品は図面印刷面(表)が外側です。図中の線種の意味は下表を参考にしてください（線の太さに意味は有りません）。

図面中の線

切取線	———————	切取り線
補助線	- - - - - - - - -	部品の取付けの目安となる線
折曲線	— — — — — -	説明書に従って折曲げてください
中心線	—・—・—・—・	中心となる線
選択切取線	—・・—・・—・・・	部品の選択により切り取る線



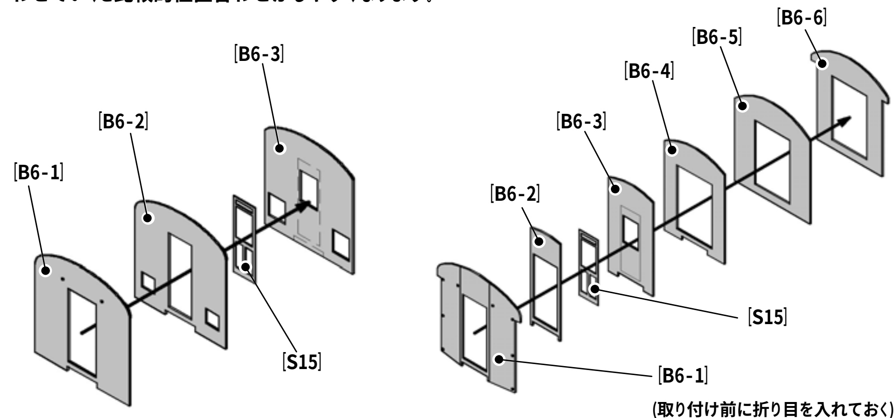
カッターの刃は新しい紙を切り出すごとに毎回折るか交換して切れ味を保ちましょう。使用済みの刃のかけらを含め**刃物の取り扱いには十分に注意を払ってください。**

手すりやテールライトなど穴を開ける部分には、部品を組み立てる前にピンバイス(左図の場合はケガキ針)等で軽く下穴を開けておくと下地処理などの工程後も位置を確認しやすくなります。

組み立て手順を説明文中、特に必要のある場合を除いて枝番号は記載していません。
【例】 [B2-1～2]、[B2-1] ⇒ [B2]

● 妻 板 の組み立て

[B6] と [B7] の部品を全て切り出し、まず [B6-3] 及び [B7-3] に貫通扉がある場合は [S15] を貼り付け、その後、[B6] 及び [B7] をそれぞれ順に貼り合わせてください。 [B6-1] 、[B7-1] が最後になる順番で張り合わせていくと比較的位置合わせがしやすくなります。

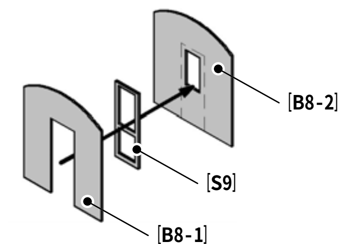


(取り付け前に折り目を入れておく)

切妻タイプの組み立て
([B7] も同様)

折妻タイプの組み立て
([B7] も同様)

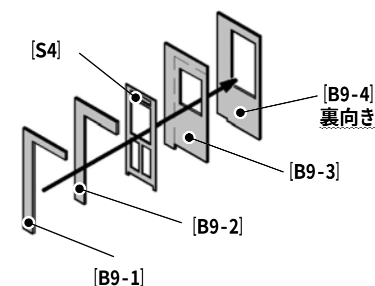
● デッキ仕切板 の組み立て



[B8-2] に [B8-1] と [S9] を貼り合わせる。

*[S9]に H ゴムなどさらに付属部品[S10]を取り付ける場合があります

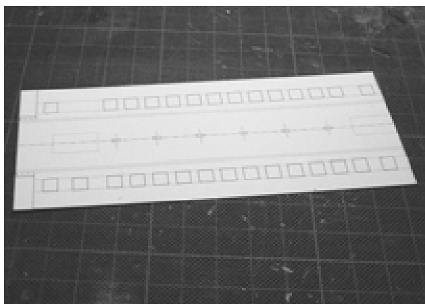
● デッキ扉 の組み立て



[S4] → [B9-3] → [B9-4] (裏向きに取り付け)→ [B9-2] → [B9-1] の順に取り付けると位置決めがしやすくなります。

*[B9-3a]に対応する部品は[S4a]という具合に最後についているアルファベットをそろえてください。
*[S4]に H ゴムなどさらに付属部品[S10]を取り付ける場合があります
*扉上辺は屋根を曲げたときにはがれやすいので特に念入りに接着してください。
* [B10] 、[B11]も左図と同様に組み立てます。

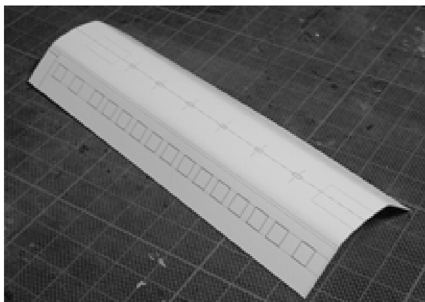
● 車体 の組み立て



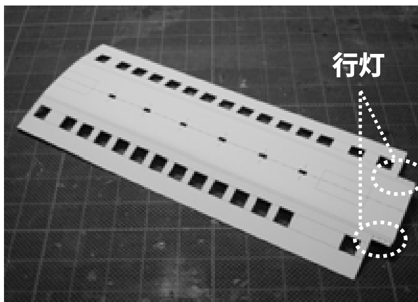
1
部品［B 1］をまず外枠だけで切り出す。(窓等はまだ抜かない)



2
ペンの杖などで屋根の曲げ癖をつける。このときに急激な折り曲げ癖をつけないように注意。



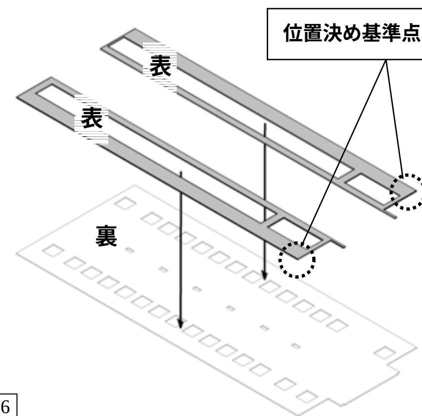
3
肩の部分を強めに曲げておくだけで良い。



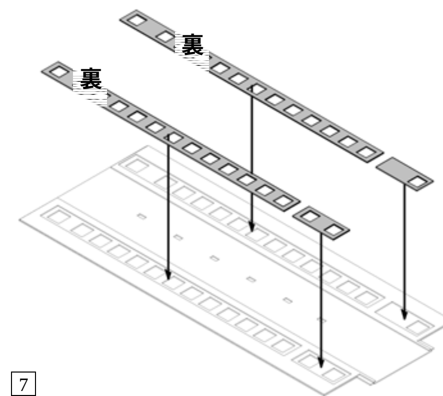
4
［B 1］の窓抜きを済ませた状態。扉上部に行灯(等級を示す電灯)がある場合は切れ目をいれ曲げやすくしておく。*[B2]に付いている場合もあります。

＊ベンチレータの取付け穴＊

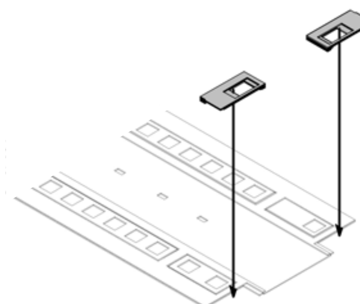
ベンチレータ取り付け用の角穴は KATO の ASSY パーツを取り付け用の物ですが、GM のパーツなど足の出ていないベンチレータを取り付ける予定であれば、位置決めがしやすいのでそのまま角穴を開けることをお勧めします。



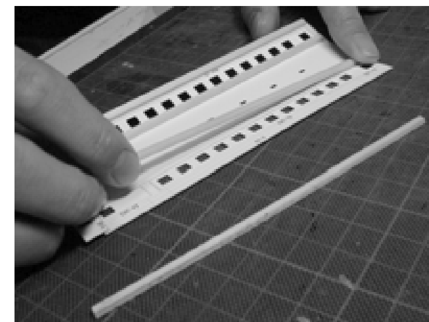
6
1～4で切り出した側板外板・屋根板[B1]に側板内板[B2-1]、[B2-2]を取り付けます。なお[B1]と[B2]は裏どうしになるように接着してください。この工程は組立の基礎となる重要な工程なので、位置決めや接着は特にしっかりと行ってください。
([B2]の全周を瞬間接着剤で固めてください)



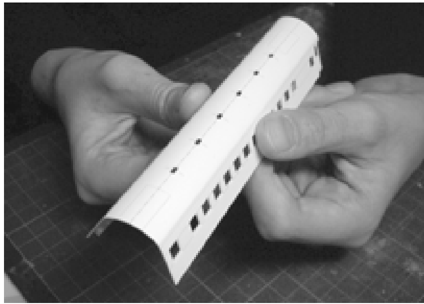
7
［B5］を裏向けに(［B1］と同じ向き)に取り付ける。は[B2]の［ ］に取り付ける部品番号があります。表から点線補助線にあわせてしっかりと位置決めをし、念入りに接着してください。
([B5]の外周だけを瞬間接着剤で固めてください)



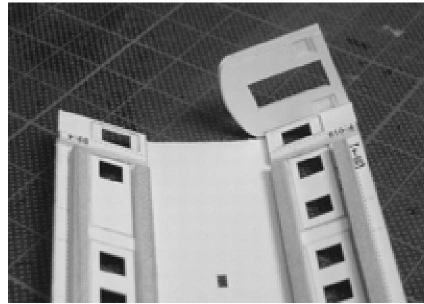
8
デッキ扉等を取り付けます。デッキ扉上部に行灯がある場合は扉を取り付ける前に曲げて下さい。
屋根を曲げたときに剥がれないように扉上部は特に念入りに接着してください。
*屋根部分に接着剤をたくさん付け過ぎると屋根がきれいに曲がらなくなるので注意。



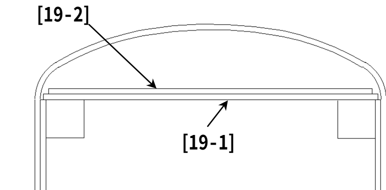
9
2x2mm の桧材を適当に切断し、側板内側の下から 2mm と上端の上下 2 本 (左右で合計 4 本)を点線に沿って取り付けます。木工用ボンドで取り付けると位置決めがしやすいです。



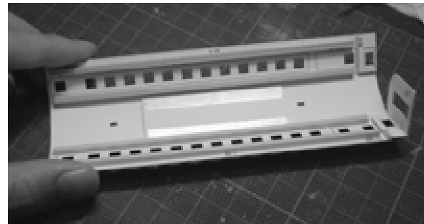
10
屋根に十分な曲げぐせを付け、曲げたときにパーツの剥がれ（接着不良）がないか入念にチェック！



11
片方の妻板だけ取り付け。



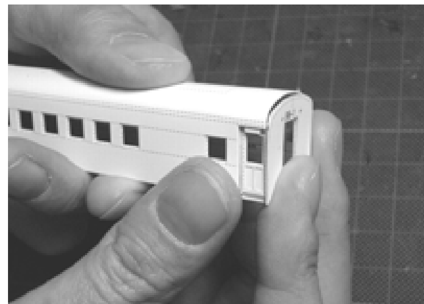
12
[19-1]と[19-2]を貼り合わせます。
上図は、中屋根[19]の取り付けたときの断面図



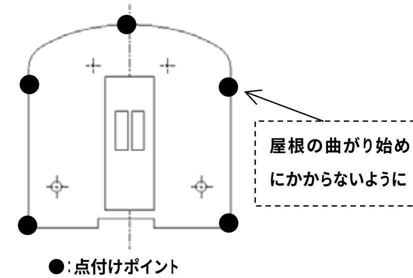
13
中屋根[19-1]の裏に両面テープを貼り付けボディに仮配置します。



14
定規で中屋根を押し上げながら屋根を一気に曲げます



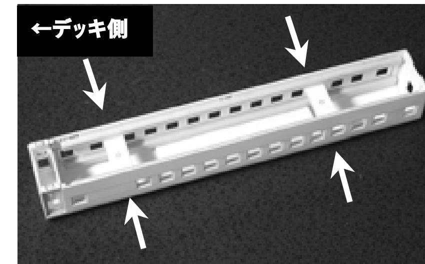
15
しっかりとボディと妻板を密着させて取り付けます



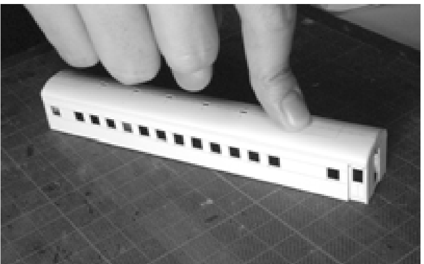
16
両方の妻板を取付ける時は、
側板→屋根中心→側板の順で点付けしてから本接着を行うと良いでしょう。



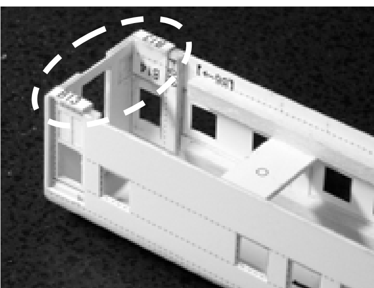
17
スペーサ [20] を 3 枚重ねた物を、鉄道模型のアクリルケースなどに車体を挟みながら取付けると側板のゆがみを抑えることができます。



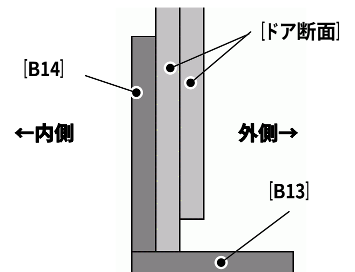
18
スペーサ [18] の取付け位置参考写真です。
このスペーサが左右でズレれていると、完成時に車体がねじれてしまうことがあります。



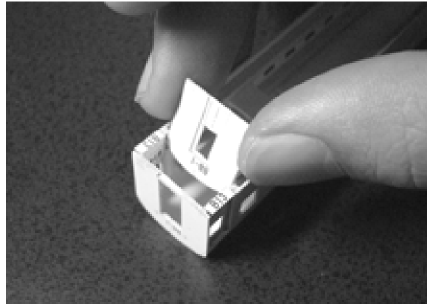
19
屋根の R（曲がり）がなじんでない場合は、屋根の中心線に沿って指で少し凹むくらいの力で何度かなぞると良いです。



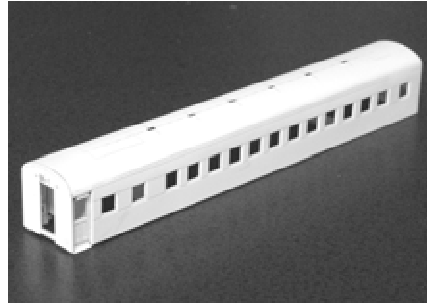
20
デッキ扉の裏下部に [B14] と [B13] を取り付ける。



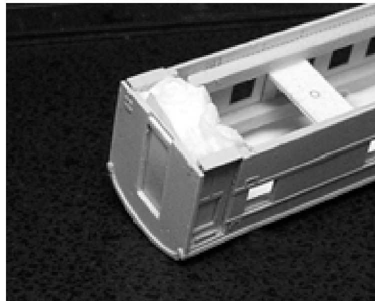
21
[B14] と [B13] を取り付け部の断面図。



23
デッキ仕切り板を取り付ける。(取り付け前にデッキ内を塗装しておくと後々楽です。)



20
妻板とボディの継ぎ目を瞬間接着剤などを盛って消したら箱組完成。
→個別取扱説明書「仕上げ」の章に続く



おまけ
デッキ仕切り板部のマスキングを施した状態。
窓をテープでふさぎしたからティッシュなどを詰め込むだけの簡単マスキング

5.著作権・免責事項 等

- 本キットに含まれている物の著作権は にぃどる・ぶっく(英表記:Needle Book) が保持します。
- いかなる状態の本キットの一部または全てを無断で複製、販売することを禁じます。
- 本キットの制作もしくは利用によって生じたいかなる損害に対して責任を一切負いません。
- 改善要求や設計ミス報告があった場合は迅速に対応しますが、その要求・報告に対応する義務は負いません。
- 本キットの内容は予告なく変更されることがあります。
- 多くの方に製作して頂けるように、なるべくわかりやすく説明書を書いたつもりですが、万が一分からない・分かりにくいところがあれば何なりとメール にてお知らせください。

著作製作: にぃどる ぶっく
- 平成 17 年 2 月 10 日 第 2 版発行 -